

令和5年度

教育委員会 点検と評価
報告書

加東市教育委員会

目 次

| | | |
|---|---|----|
| 1 | 本報告書について | 1 |
| 2 | 教育委員会の活動及び運営状況 | |
| | (1) 教育委員会委員 | 1 |
| | (2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等 | 1 |
| | (3) 教育委員会以外の主な活動状況 | 6 |
| 3 | 基本理念と施策体系 | 8 |
| 4 | 令和5年度 主要事業の点検と評価 | 11 |
| | 基本方針Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～ | |
| | 基本的方向(1)「確かな学力」の育成 | 12 |
| | 基本的方向(2)夢や志を持ち挑戦する力の育成 | 16 |
| | 基本的方向(3)「豊かな心」の育成 | 20 |
| | 基本的方向(4)「健やかな体」の育成 | 24 |
| | 基本的方向(5)インクルーシブ教育の充実 | 28 |
| | 基本的方向(6)幼児教育の充実 | 30 |
| | 基本方針Ⅱ 子どもの学びを支える教育環境の整備 | |
| | 基本的方向(1)学校の組織力及び教職員の資質能力の向上 | 33 |
| | 基本的方向(2)家庭・地域の力を生かした教育の充実 | 37 |
| | 基本的方向(3)学校施設の整備と就学支援 | 43 |
| | 基本方針Ⅲ 人生100年時代の到来を見ずえた生涯学習の推進 | |
| | 基本的方向(1)多様な学習機会の充実 | 46 |
| | 基本的方向(2)人権教育・啓発の推進 | 49 |
| | 基本的方向(3)文化芸術の振興 | 51 |
| | 基本的方向(4)文化財の保護と活用・継承 | 53 |
| | 基本的方向(5)生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進 | 56 |
| | 基本的方向(6)社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営 | 59 |
| | 基本的方向(7)図書館サービスの充実 | 60 |
| 5 | 評価委員所見 | 62 |

※ 「9 実施計画と指標」において、「小学校」には「義務教育学校前期課程」を、「中学校」には「義務教育学校後期課程」を含みます。
また、取組の内容や指標についても、対象としている小学校または中学校の学年には、義務教育学校における該当する学年を含みます。
(例：「児童生徒アンケート(市) 対象：小6、中3」には、義務教育学校6年生、9年生を含みます。)

1 本報告書について

教育委員会が行う事務の管理及び執行状況については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条により、毎年、点検及び評価を行い、その内容を議会に提出し、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価は、教育委員会の権限に属する事務が対象となりますが、この点検及び評価については、「第3期加東市教育振興基本計画（以下、「第3期基本計画」という。）」の評価・見直しとしても位置付けており、第3期基本計画に基づく取組についても点検及び評価を実施することとします。

なお、点検及び評価については、自己評価を行った上で、外部有識者の意見聴取会を実施しました。外部有識者の所見は、本報告書に記載しています。

2 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会委員

| 区 分 | 氏 名 | 任 期 |
|----------|---------|---------------------|
| 教 育 長 | 藤 原 哲 史 | 令和4年6月28日～令和6年5月26日 |
| 教育長職務代理者 | 田 中 寿 一 | 令和3年5月27日～令和7年5月26日 |
| 委 員 | 後 藤 純 子 | 令和2年5月27日～令和6年5月26日 |
| | 岸 本 恵 一 | 令和5年5月27日～令和9年5月26日 |
| | 別 惣 裕美子 | 令和4年6月28日～令和8年5月26日 |

(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等

○第1回定例教育委員会（4月20日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|-------|-------------------------------|
| 第1号議案 | 加東市東条地域小中一貫校の通学の基本方針の一部改正について |
| 第2号議案 | 加東市東条西ふれあい館の臨時開館の件 |
| 第3号議案 | 附属機関等委員の解嘱及び委嘱の件 |
| 協議事項1 | いじめ事案の対応について |
| そ の 他 | 附属機関等委員の委嘱及び解嘱について |
| | 令和4年度教育委員会点検と評価について |
| | 令和5年度新規主要事業について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可4件 |

○第2回定例教育委員会（5月29日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|-------|---|
| 第4号議案 | 加東市における小中一貫校の整備方針の一部改正について |
| 第5号議案 | 教育財産取得の申出の件 |
| 第6号議案 | 教育財産取得の申出の件 |
| 第7号議案 | 加東市滝野地域小中一貫校の通学の基本方針及び通学方法について |
| 第8号議案 | 加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について |
| 第9号議案 | 令和6年度使用加東市立学校における教科用図書の採択要領の制定について |
| そ の 他 | 附属機関等委員の委嘱について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 加東市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例及び加東市いじめ問題対策委員会条例の一部改正について |
| | 令和4年度教育委員会点検と評価の実績値修正について |
| | パソコン等（学校ネットワーク）のランサムウェア感染事案について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可9件 |

○臨時教育委員会（6月23日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|-------|--------------------------|
| 協議事項2 | 旧東条西小学校校舎等整備工事請負契約締結について |
| そ の 他 | 加東市一般会計補正予算（第3号）について |

○第3回定例教育委員会（6月29日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|--------|--|
| 第10号議案 | 加東市学校給食センター規則の一部を改正する規則制定の件 |
| 第11号議案 | 加東市スクールバス運行に関する要綱の一部を改正する要綱制定の件 |
| 第12号議案 | 加東市遠距離児童通学援助に関する要綱の一部を改正する要綱制定の件 |
| 第13号議案 | 加東市地域交流センター規則の一部を改正する規則制定の件 |
| 第14号議案 | 加東市スポーツ賞表彰規程及び加東市代表選手賞賜金支給要綱の一部を改正する告示制定の件 |
| 第15号議案 | 加東市中央図書館の臨時休館及び加東市滝野図書館の臨時開館の件 |
| 第16号議案 | 加東市社地域小中一貫校の通学の基本方針及び通学方法の一部改正について |

| | |
|----------|---|
| 第 17 号議案 | 加東市コミュニティセンター東条会館の開館時間の延長及び臨時開館について |
| 協議事項 3 | いじめ事案の対応について |
| そ の 他 | 不登校児童生徒が相談・指導を受ける民間施設についてのガイドラインの策定について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 加東市地域交流センター空調設備改修工事及び加東市東条第一体育館耐震・長寿命化改修並びに空調設備整備工事の概要について |
| | 東条文化会館の運営について |
| | パソコン等（学校ネットワーク）のランサムウェア感染事案について 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 10 件 |

○第 4 回定例教育委員会（7 月 27 日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|----------|--|
| 第 18 号議案 | 令和 6 年度に使用する小学校教科用図書、中学校教科用図書及び学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定による教科用図書の採択の件について |
| 第 19 号議案 | 教育委員事務局職員の任免の件 |
| 協議事項 4 | 地域交流センター空調設備改修工事請負契約締結について |
| 協議事項 5 | 東条第一体育館耐震・長寿命化改修及び空調設備整備工事請負契約締結について |
| そ の 他 | 小中一貫校整備状況について |
| | 加東市社地域小中一貫校新制服・体操服等について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 16 件 |

○第 5 回定例教育委員会（8 月 30 日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|----------|-------------------------------|
| 第 20 号議案 | 加東市地域交流センターの臨時開館及び臨時休館の件 |
| 第 21 号議案 | 加東市滝野複合施設の臨時開館の件 |
| 第 22 号議案 | 令和 5 年度加東市中央図書館の臨時休館日の取り消しの件 |
| 第 23 号議案 | 加東市教育委員会医療的ケア運営協議会設置要綱の制定について |
| 協議事項 6 | 令和 4 年度教育に関する決算について |
| 協議事項 7 | 土地取得の件 |
| 協議事項 8 | 生徒指導報告について |
| そ の 他 | 9 月補正予算について |

| | |
|-------------------------|---|
| そ の 他 | 加東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び加東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について |
| | 不登校児童生徒が相談・指導を受ける民間施設について |
| | 令和6年度使用教科用図書採択期間の終了について |
| 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可7件 | |

○第6回定例教育委員会（9月27日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|--------|-----------------------------|
| 第24号議案 | 令和5年度加東市東条図書館の臨時休館の件 |
| 協議事項9 | 加東市社地域小中一貫校建設工事変更請負契約締結について |
| そ の 他 | 附属機関等委員の委嘱及び解嘱について |
| | 社地域小中一貫校の通学方法について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可7件 |

○第7回定例教育委員会（10月27日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|--------|----------------------------|
| 第25号議案 | 加東市東条公民館の臨時休館の件 |
| 第26号議案 | 加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について |
| 第27号議案 | 加東市立図書館宅配サービス実施要綱制定の件 |
| そ の 他 | 小中一貫校整備状況について |
| | 滝野地域小中一貫校の通学方法について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可5件 |

○第8回定例教育委員会（11月29日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|--------|--|
| 第28号議案 | 教育財産の用途廃止の件 |
| 協議事項10 | 加東市立小中学校及び義務教育学校児童生徒用机椅子購入について |
| 協議事項11 | 加東市コミュニティセンター東条会館条例の一部改正について（加東市社・東条放課後児童健全育成施設条例の一部を改正する条例制定の件） |
| 協議事項12 | 公の施設の指定管理者の指定の件 |

| | |
|---------|---|
| 協議事項 13 | 加東市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件 |
| そ の 他 | 令和 5 年度加東市一般会計補正予算（第 6 号）について |
| | 令和 6 年度加東市立学校教職員人事異動方針について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 加東市社地域小中一貫校の徒歩通学路（案）について |
| | 加東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について |
| | 加東市社・東条放課後児童健全育成施設条例の一部改正について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 8 件 |

○第 9 回定例教育委員会（12 月 22 日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|----------|-------------------------------|
| 第 29 号議案 | 教育委員会事務局職員の任免の件 |
| そ の 他 | 令和 5 年度加東市一般会計補正予算（第 7 号）について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 6 件 |

○第 10 回定例教育委員会（1 月 26 日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|----------|---------------------------|
| 第 30 号議案 | 加東市中央図書館の臨時開館時間延長の件 |
| 第 31 号議案 | 加東市立図書館の臨時開館及び臨時休館の件 |
| そ の 他 | 小中一貫校整備状況について |
| | 社地域新設アフタースクールについて |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 6 件 |

○第 11 回定例教育委員会（2 月 27 日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|----------|------------------------------|
| 第 32 号議案 | 加東市地域交流センターの臨時休館の件 |
| 第 33 号議案 | 加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について |
| 協議事項 14 | 令和 6 年度教育に関する予算について |
| 協議事項 15 | 加東市学校給食センター連続焼物機・連続揚物機購入について |
| 協議事項 16 | 加東市社地域小中一貫校一般備品購入について |
| 協議事項 17 | 加東市社地域小中一貫校建設工事変更請負契約締結について |
| 協議事項 18 | 旧東条西小学校校舎等整備工事変更請負契約締結について |

| | |
|---------|---|
| 協議事項 19 | 加東市東条第一体育館耐震・長寿命化改修及び整備工事変更請負契約締結について |
| そ の 他 | 3月補正予算について |
| | 附属機関等委員の委嘱について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 加東市立学校熱中症対策ガイドラインについて |
| | 加東市有害図書類及び有害玩具類等自動販売機設置の規制に関する条例の一部改正について |
| | 加東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 1 件 |

○臨時教育委員会（3月15日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|---------|---------------------------------|
| 協議事項 20 | 加東市地域交流センター空調設備改修工事変更請負契約締結について |
| 協議事項 21 | 加東市立学校指導書等購入について |
| 協議事項 22 | 委任及び補助執行する事務の変更について |

○第12回定例教育委員会（3月27日）

| 番 号 | 案 件 名 |
|--------|---------------------------------------|
| 第34号議案 | 加東市社地域小中一貫校の名称及び位置について |
| 第35号議案 | 加東市学校給食センター規則の一部を改正する規則制定の件 |
| 第36号議案 | 加東市立学校に配置する会計年度任用職員に関する規程の一部を改正する訓令制定 |
| 第37号議案 | 加東市立米田小学校学校歯科医の解嘱及び委嘱の件 |
| 第38号議案 | 教育委員会附属機関等委員の委嘱の件 |
| 第39号議案 | 教育委員事務局職員の任免の件 |
| そ の 他 | 附属機関等委員の委嘱及び解嘱について |
| | 小中一貫校整備状況について |
| | 加東市部活動あり方検討委員会進捗状況 |
| | 各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 4 件 |

(3) 教育委員会以外の主な活動状況

教育委員会委員は、教育委員会への出席以外に次の行事等に出席しました。

○市議会

- ・本会議（教育長）
- ・予算特別委員会、決算特別委員会、各常任委員会等（教育長）
- 総合教育会議（第1回：7月11日、第2回：1月16日）
- 学校訪問（6月29日、7月5日・7日・10日・11日・12日）
- 各種学校行事
 - ・小学校、中学校、義務教育学校入学式（4月10日）
 - ・小学校PTA総会（4月15日）
 - ・中学校・義務教育学校PTA総会（4月22日）
 - ・学校オープン：5月（1校）、10月（6校）、11月（3校）、1月（4校）
 - ・小学校運動会（9月16日）、中学校・義務教育学校体育大会（9月9日）
 - ・小学校、中学校、義務教育学校発表会
 - ・学校経営研修会（5月12日、5月22日）
 - ・加東市小中一貫教育研修会（5月9日、10月12日）
 - ・小中学校卒業証書授与式（小学校3月21日、中学校・義務教育学校3月15日）
 - ・校長会（教育長）
- 各種会議及び研修会
 - 教育長協議会
 - ・兵庫県都市教育長協議会（第1回：5月24日・丹波市、第2回：10月20日・南あわじ市）
 - 教育長会議
 - ・市町組合教育委員会教育長会議（4月18日・神戸市）
 - ・播磨東地区教育長会議（7月12日・加古川市）
 - ・播磨東教育長会第2回（2月20日、オンライン会議）
 - 市町村教育委員会連合会
 - ・兵庫県市町村教育委員会連合会常任理事会
（第1回：4月19日・神戸市、第2回：2月5日・神戸市）
 - ・兵庫県市町村教育委員会連合会理事会・定期総会・研修会
（5月25日・播磨町）
 - ・全県夏季教育委員会研修会（8月17日～18日・神戸市）
 - ・播磨東地区教育委員会連合会理事会・総会・研修会（7月18日・播磨町）
 - ・東播磨地区教育委員会連合会理事会・研修会（11月14日・播磨町）
 - ・第72回へき地教育研究大会兵庫大会
第38回近畿へき地教育研究大会兵庫大会
第62回兵庫県へき地・複式教育研究大会（10月12日～13日）
- その他行事等
 - ・加東市二十歳の集い（1月7日）
 - ・各種市内イベント・大会及び研修会等

3 基本理念と施策体系

基本理念を「人間力の育成」とし、「豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東」の実現をめざすため、3つの基本方針に基づいて、16の基本的方向に向かって、それぞれの施策における取組を進めています。

「人間力の育成」

～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～

【めざす人間像】

- 夢や志を持ち、生涯を通じて学び続け、自立し力強く生きる人
ふるさと
- 加東を愛し、共に支え合いながら、未来を切り拓いていく人

基本方針

基本方針Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進
～学びの連続性を大切にした教育の充実～

基本方針Ⅱ 子どもの学びを支える教育環境の整備

基本方針Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進

基本方針

Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～

基本的方向

(1) 「豊かな学力」の育成

- ①地域の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施
- ②学力向上をめざす取組の充実
- ③英語教育の充実
- ④情報教育の充実

(2) 夢や志を持ち挑戦する力の育成

- ①キャリア教育の充実
- ②ふるさと学習の推進
- ③子どもの主体性・創造性を高める活動の充実

(3) 「豊かな心」の育成

- ①「豊かな心」を育む体験活動の充実
- ②道徳教育の充実
- ③人権教育の充実
- ④防災教育の充実

(4) 「健やかな体」の育成

- ①体力・運動能力向上をめざす取組の充実
- ②健康・安全教育の充実
- ③食育の推進

(5) インクルーシブ教育の充実

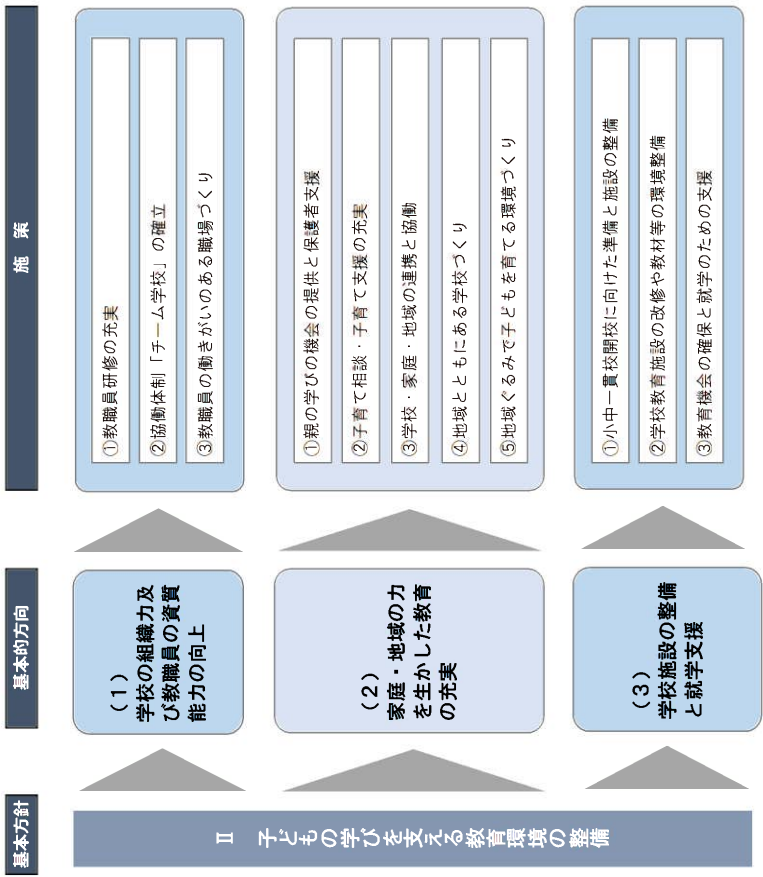
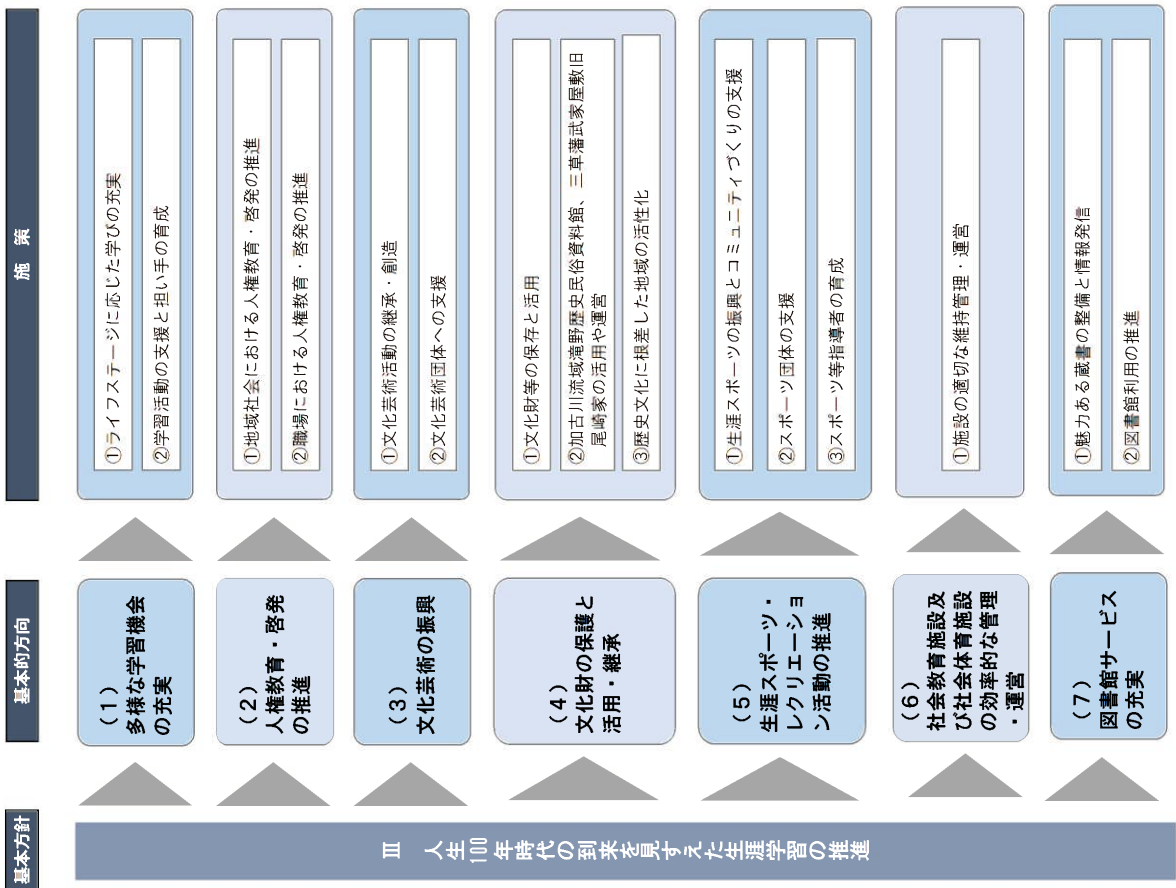
- ①教育相談の充実
- ②支援体制の充実

(6) 幼児教育の充実

- ①就学前教育・保育の提供体制の確保
- ②思いやりの心を育む幼児期の教育の充実

施策

施策体系



4 令和5年度 主要事業の点検と評価

第3期基本計画の施策ごとに、令和5年度の取組内容について点検し、その成果と課題を明確にするとともに、16の基本的方向ごとに設定した成果指標と取組指標の達成状況から、下記の基準で総合的に評価しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標の実績数値は黄色に塗りつぶしています。

【基本的方向ごとの総合評価】

| 総合評価 | 評価の基準（成果指標の目標値達成状況） |
|------|--|
| A | すべての成果指標について、当該年度の目標値を達成。 |
| B | 当該年度の目標値を達成した成果指標の数が、半数以上。 もしくは、達成数は1以上半数以下であるが、上昇傾向（改善傾向）の成果指標の数が過半数。 |
| C | 当該年度の目標値を達成した成果指標の数が、1つ以上半数未満。 もしくは、すべて目標値に到達していないが、上昇傾向（改善傾向）の成果指標の数が半数以上ある。 |
| D | すべての成果指標について、当該年度の目標値を未達成（Cに該当する場合は除く）。 |

※ 成果指標の目標値を設定していない年度の評価については、取組指標の達成状況により評価する。ただし、取組指標をすべて達成しても「B」、過半数の達成で「C」、それ以外は「D」とする。

※ 成果指標の設定数が1項目の総合評価は、目標値を達成していないが、上昇傾向（改善傾向）にある場合は「B」とする。

なお、成果指標の達成状況は、該当する年度の目標値と比較し、下記のように達成状況を示します。

【成果指標達成状況】

| 達成状況 | 評価の基準 |
|------|---|
| ☆ | 該当する年度における目標値を大きく上回った（改善した）。 |
| ◎ | 該当する年度における目標値を達成した。 |
| ↗ | 該当する年度における目標値を達成できなかったが、前年度と比較し上昇傾向（改善傾向）にある。 |
| → | 該当する年度における目標値を達成できず、前年度と変わらない。 |
| ↘ | 該当する年度における目標値を達成できず、前年度と比較し減少傾向（悪化傾向）にある。 |

※ 前年度と比較する場合において、本実施計画年度の初年度は基準値と比較する。

基本方針Ⅰ 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～

基本的方向（１）「確かな学力」の育成

１ 成果指標による達成状況

| 基本的方向（１）「確かな学力」の育成 | | 総合評価 | | C | | |
|---|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ●学校の授業がわかると答える児童生徒の割合【肯定的回答】 (児童生徒アンケート(市)対象：小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 84.0 | 85.0 | 86.0 | 87.0 | 88.0 |
| 実績(%) | 82.9 | 93.1 | 92.2 | 90.1 | | |
| 達成状況 | | ☆ | ◎ | ◎ | | |
| ●学校の授業以外で、平日に1時間以上学習する児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象：小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 74.0 | 75.0 | 76.0 | 77.0 | 78.0 |
| 実績(%) | 73.1 | 70.4 | 71.2 | 59.4 | | |
| 達成状況 | | ↘ | ↗ | ↘ | | |
| ●英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合 (英語教育実施状況調査(文部科学省)対象：中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 53.0 | 56.0 | 58.0 | 59.0 | 60.0 |
| 実績(%) | 46.0 | 48.3 | 52.7 | 47.2 | | |
| 達成状況 | | ↗ | ↗ | ↘ | | |
| ●収集した情報を整理して、発表資料を作成することが得意であると答える児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象：小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和2年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 30.0 | 35.0 | 40.0 | 45.0 | 50.0 |
| 実績(%) | 25.6 | 28.0 | 26.3 | 25.6 | | |
| 達成状況 | | ↗ | ↘ | ↘ | | |

2 施策ごとの取組評価

| | | | |
|------------|--|-----|-----------------|
| 施策体系コード | I - (1) - ① | 担当課 | 学校教育課・小中一貫教育推進室 |
| 施策 | ①地域の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施 | | |
| 取組 | 取組1 カリキュラムの実践と公開 | | |
| | 取組2 カリキュラムの改訂 | | |
| | 取組3 乗り入れ授業 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>小中一貫教育教科カリキュラムに基づいた授業づくりを促進させるために、引き続き、相互乗り入れ授業や出前授業の成果を教職員へ周知するとともに、グランドデザインやカリキュラムの改訂を行った。また、小中一貫教育教科カリキュラムとふるさと学習「かとう学」とのつながりを明確にし、パンフレットを配布して活用の推進を図った。主幹教諭等のミドルリーダー研修会において、カリキュラムマネジメント研修を行った。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>小中一貫教育教科カリキュラムに基づき、乗り入れ授業を行う中で、小学校と中学校の系統性・連続性を意識した授業研究が深まり、授業力向上につながった。また、グランドデザインを保護者へ周知することで、小中一貫教育の理解促進を図るとともに、目指す子どもの姿を地域や保護者と共有し、地域とともにある学校づくりの理解を深めた。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>小中一貫教育教科カリキュラムとふるさと学習「かとう学」とのつながりをさらに意識し、教科横断的な学びを通して、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもの育成を図る。</p> | | |

| | | | |
|------------|---|-----|-------|
| 施策体系コード | I - (1) - ② | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ②学力向上をめざす取組の充実 | | |
| 取組 | 取組1 授業改善及び教員の指導力向上 | | |
| | 取組2 一人1台パソコンを活用した「児童生徒一人ひとりに合った学び」の実現 | | |
| | 取組3 学習習慣の定着と家庭学習の充実 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>各学校において、全国学力・学習状況調査及び市独自の総合学力調査の結果を分析して、課題を克服するための手立てについて協議した。学力向上プロジェクト委員会では、小中学校の教職員が一つになって、課題を踏まえた授業改善に取り組んだ。</p> <p>加東市独自の総合学力調査を小学3年生から中学2年生を対象に実施し、その結果を復習や発展学習に活用した。また、個別最適な学習を推進するために、一人1台パソコンを活用して、復習や発展学習に取り組んだ。また、自主的な家庭学習、学習習慣の定着を図るため、長期休業中のスタディライフや放課後学習を実施した。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>学力向上プロジェクト委員会を3回行い、各校の課題を踏まえた改善点を市全体で共有した。市独自の総合学力調査では、経年比較により成果が見られた取組事例を共有して、学力向上に向けた授業改善に取り組めた。また、児童生徒が自身の苦手分野等を確認して、復習や得意分野を伸ばす発展学習に取り組んだ。</p> <p>長期休業中のスタディライフに参加した児童生徒について、家でも自主学習をしたいと約9割の児童生徒が回答し、家庭学習の意欲向上が見られた。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>全国学力・学習状況調査及び加東市総合学力調査の結果分析を踏まえた授業改善を継続し、児童生徒の学力向上を図る。併せて、各教科の授業が好きになり、楽しみながら学習できる授業づくりについて研究する。</p> | | |

| | |
|--|---|
| | 総合学力調査結果後の個別最適な学びを充実させるため、2月からの補充・発展学習の方法を研究する。また、各学年の学習課題や手立てについては、次の学年に引き継ぎ、系統立てた学習を行う。 |
|--|---|

| | | | |
|------------|---|-----|-------|
| 施策体系コード | I－(1)－③ | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ③英語教育の充実 | | |
| 取組 | 取組1 主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育む活動の推進 取組2 コミュニケーション能力を育む英語授業の充実 | | |
| 令和5年度の取組内容 | 「わくわく英語村」への参加者を増やすため、活動内容の見直し、ゲーム的な活動を増やし、楽しく英語でコミュニケーションが取れるようにした。小中連携の授業研修、かとう英語ライセンス制度やGTECJuniorの効果的な活用研修を行った。積極的に英語検定にチャレンジできるようにするため、年度当初に各自で目標を決め計画的に取り組んだ。 | | |
| 令和5年度の取組成果 | 「わくわく英語村」を3日間実施し、延べ114名の中学生が参加した。活動は、オールイングリッシュで臨み、より主体的なコミュニケーションを育んだ。授業研修には、ALTも参加し、実践的な指導力向上を図った。また、GTECJuniorと連携したICTアプリの活用を進めることができた。英語検定チャレンジ事業を利用する生徒の割合は、86.2%となり、昨年度から18%増加した。 | | |
| 令和6年度の課題 | 英語活動へ意欲的・主体的に取り組む、英語が好きになる授業づくりを研究する。また、「わくわく英語村」の参加者を増やすため、英語が苦手な生徒も参加しやすい学習環境づくりや活動支援ができるようにする。引き続き、英語検定にチャレンジする生徒を増やすため、個別の生徒に対して、計画的な指導支援を行う。 | | |

| | | | |
|------------|--|-----|-------|
| 施策体系コード | I－(1)－④ | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ④情報教育の充実 | | |
| 取組 | 取組1 児童生徒一人1台パソコンの活用 取組2 情報モラル教育の推進 | | |
| 令和5年度の取組内容 | ICTを活用した協働的な学び、個別最適な学びを進めるため、新たな授業支援アプリ・学習アプリを導入した。新たな学習アプリを活用した授業について、市内研修会や各学校で研修会を実施し、効果的な活用を進めた。 学校PCのウイルス感染に伴い、再発防止のため、全教職員を対象にした情報セキュリティ研修を実施した。 | | |
| 令和5年度の取組成果 | ICT支援員が講師となり、全ての市立学校において、新規導入アプリの研修を行い、操作方法及び効果的な活用について研鑽を積んだ。情報セキュリティ研修では、管理職を含め、PCを扱う全教職員対象に研修を行い、セキュリティモラルの向上を図った。 学校PCのウイルス感染により、校務PCや生徒用タブレットが使用できない期間があったが、本来の学習のねらいを見直す機会となった。また、教職員の協力により、通信簿の作成など児童生徒への影響を最小限に抑えることができた。 | | |
| 令和6年度の課題 | ICTを活用した協働的な学び、個別最適な学びを進めるため、研究指定校を指定し、学習アプリの効果的な学習について研究を行う。また、児童生徒の情報活用能力を高めるため、発表する場面を増やすなど、計画的な指導を行う。 児童生徒が主体となったスマートフォンやSNS等の利用について、各学校の実態に応じた情報モラル学習ができるようにする。 | | |

3 取組指標の達成状況

| | | | | | | |
|--------------------|----------------|--------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 施策体系コード I－(1)－② | | 校内授業検討会を実施した1校あたりの回数 (学校アンケート(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(回) | | 5 | 5 | 25 | 25 | 25 |
| 実績(回) | — | 5 | 6 | 24 | | |
| 施策体系コード I－(1)－③ | | 英検検定料助成を利用した中学生の割合 (実用英語技能検定(英検)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 58.0 | 61.0 | 64.0 | 67.0 | 70.0 |
| 実績(%) | 55.3 | 57.3 | 68.2 | 86.2 | | |
| 施策体系コード I－(1)－④ | | 一人1台パソコンを活用した教科数 (学校アンケート(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値 (教科数) | | 全教科 | 全教科 | 全教科 | 全教科 | 全教科 |
| 実績 (教科数) | — | 全教科 | 全教科 | 全教科 | | |

基本的方向（２）夢や志を持ち挑戦する力の育成

１ 成果指標による達成状況

| 基本的方向（２）夢や志を持ち挑戦する力の育成 | | 総合評価 | | B | | |
|---|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ●将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 64.0 | 66.0 | 68.0 | 70.0 | 72.0 |
| 実績(%) | 62.1 | 52.1 | 39.3 | 42.3 | | |
| 達成状況 | | ↘ | ↘ | ↑ | | |
| ●ふるさと学習を通じて、ふるさとを大切にしたいという気持ちが芽生えた児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小3、小4) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和2年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 88.0 | 89.0 | 90.0 | 91.0 | 92.0 |
| 実績(%) | 87.9 | 85.7 | 82.9 | 82.6 | | |
| 達成状況 | | ↘ | ↘ | ↘ | | |
| ●地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 21.0 | 24.0 | 26.0 | 28.0 | 30.0 |
| 実績(%) | 18.1 | 36.9 | 24.2 | 32.9 | | |
| 達成状況 | | ☆ | ◎ | ◎ | | |
| ●難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとしている児童・生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (平成29年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 35.0 | 37.0 | 39.0 | 42.0 | 45.0 |
| 実績(%) | 32.6 | 28.7 | 21.4 | 28.7 | | |
| 達成状況 | | ↘ | ↘ | ↑ | | |

2 施策ごとの取組評価

| | | | |
|------------|---|-----|-------|
| 施策体系コード | I - (2) - ① | 担当課 | 学校教育課 |
| 施 策 | ①キャリア教育の充実 | | |
| 取 組 | 取組1 キャリア発達を促す取組の充実 取組2 社会に触れる機会の充実 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>「かとう夢授業」として、専門の外部講師を招聘し、プロフェッショナルの高度な技能を授業等に取り入れ、児童生徒の夢に向かう力を育む機会をつくった。</p> <p>トライやる・ウィークでは、生徒の希望に沿った事業所の確保に努め、登録事業所が増加した。事業所で5日間、体験活動を実施した。</p> <p>キャリアノートを活用し、キャリアパスポートを小学校から中学校、高等学校へ引き継いだ。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>小学校の図画工作の授業では大学教授を、理科の授業では JAXA 関連団体の講師等を招聘し、専門的な技能や知識に触れ、児童の興味関心を高めることができた。</p> <p>また、中学校では部活動においては、プロスポーツ選手等の招聘により、直接指導を受けることで、技術の向上を実感し、生徒の可能性を広げることができた。</p> <p>トライやる・ウィークでは、事業所の理解と協力により、新型コロナウイルス感染拡大前の事業所体験に戻すことができた。事業所での活動を通して、人や社会とのつながりを再認識し、今後の自分の生き方や人との関りについて考えることができた。「人とふれあうことの楽しさ」を感じた生徒の割合が57.3%とやや上昇した。(R4年度 55.3%)</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>「かとう夢授業」については、引き続き、専門の外部講師を招聘し、プロフェッショナルの高度な技能を授業等に取り入れ、児童生徒の夢に向かう力を育む機会をつくる。</p> <p>トライやる・ウィークでは、新規事業所の開拓に向け、地域と連携するとともに、事業所を介した活動により社会と主体的につながる機会を設定する。また、生徒への事前事後指導を計画的に実施し、より充実した事業所活動により、自分らしい生き方を考えるようにする。</p> | | |

| | | | |
|------------|---|-----|-----------------|
| 施策体系コード | I - (2) - ② | 担当課 | 学校教育課・小中一貫教育推進室 |
| 施 策 | ②ふるさと学習の推進 | | |
| 取 組 | 取組1 ふるさと学習「かとう学」の実践 取組2 ゲストティーチャーの積極的活用 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>ふるさと学習「かとう学」副読本を活用した「副読本実践事例集」を各校へ配布し、ふるさと学習を推進した。さらに、生活科、総合的な学習の時間、クラブ活動等において、地域住民を講師として招聘した。加東遺産めぐりや東条川疏水学習などの校外学習において、ゲストティーチャーに講話をいただいた。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>ふるさと学習「かとう学」副読本を活用した「副読本実践事例集」を配布したことで、活用教科が9教科から10教科へと広がった。さまざまな教科で副読本を活用することで、教科の内容とふるさと加東とのつながりを意識することができ、ふるさと意識の醸成につながった。</p> <p>また、加東遺産めぐりや東条川疏水の学習では、ゲストティーチャーから、先人の行動や思い、知恵を学ぶことで、自分のふるさとに対して、愛着と誇りを持つことができた。</p> | | |

| | |
|----------|---|
| 令和6年度の課題 | ふるさとを大切にすることを育むため、教師が授業実践で活用した資料を積極的に収集して共有することで、かとう学の推進を図る。また、ふるさと学習「かとう学」副読本のさらなる内容の充実を図るため、令和6年度から7年度にかけて改訂作業に取り組む。ふるさと学習では、地域とのつながりを持続できるよう工夫するとともに、単元のめあてに合ったゲストティーチャーを確保することが必要である。 |
|----------|---|

| | | | |
|------------|--|-----|-------|
| 施策体系コード | I - (2) - ③ | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ③子どもの主体性・創造性を高める活動の充実 | | |
| 取組 | 取組1 縦と横のつながりを意識した交流 | | |
| | 取組2 発達に応じた学校行事 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>新型コロナウイルス感染症の制限が緩和し、コロナ前の学校行事が再開された。異学年やステージごとの交流活動が増え、児童生徒の主体性を生かした集会や学園生会活動が実施された。</p> <p>社地域や滝野地域では、開校を見据え、自然学校や人権教育講演会、社会見学等を地域ごとに行い、学校間交流を行った。東条学園小中学校では、ハッピーランチや縦割り班遊び、お手玉交流会やお店屋さんごっこ等、異学年交流を実施した。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>社地域の5小学校では、5校交流により、加東遺産めぐりや人権交流会等において、学習や活動を共にすることで、他校への理解を深め、小中一貫校への意識を高めることができた。</p> <p>東条学園小中学校では、開校3年目を迎え、新たな学校生活を求め、学園生会が主体となった校則の見直しが始まった。また、ステージ制を意識した取り組みを行うことで、4年生、7年生、9年生のリーダーシップの育成を図り、体育祭や文化祭で発揮された。前期、後期の教職員が目標となる児童生徒像を具体的に意識した行事の指導支援ができるようになってきた。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>学校行事のねらいを再確認し、小中一貫校に向けて行事内容を精選する。また、児童生徒の主体性を生かした取り組みや意見を取り入れた行事や異学年集会などを充実させる。</p> <p>社地域小中一貫校開校の前年度の準備として、令和7年度の学校行事やカリキュラムを作成し、児童生徒、教職員が新たな学校で新たなカリキュラムでスタートできるようにする。</p> | | |

3 取組指標の達成状況

| | | | | | | |
|--------------------|----------------|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 施策体系コード I－(2)－② | | かとう学副読本を活用した教科数 (学校アンケート(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値 (教科数) | | 全教科 | 全教科 | 全教科 | 全教科 | 全教科 |
| 実績 (教科数) | — | 9教科 | 9教科 | 10教科 | | |
| 施策体系コード I－(2)－③ | | 各ステージ間の交流回数 (学校アンケート(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(回) | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 実績(回) | — | 3 | 5 | 14 | | |

基本的方向（3）「豊かな心」の育成

1 成果指標による達成状況

| 基本的方向（3）「豊かな心」の育成 | | | | 総合評価 | C | |
|--|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ●人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 81.0 | 82.0 | 83.0 | 84.0 | 85.0 |
| 実績(%) | 80.3 | 75.3 | 71.0 | 71.9 | | |
| 達成状況 | | ↓ | ↓ | ↑ | | |
| ●自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 46.0 | 47.0 | 48.0 | 49.0 | 50.0 |
| 実績(%) | 39.0 | 35.3 | 31.5 | 37.7 | | |
| 達成状況 | | ↓ | ↓ | ↑ | | |
| ●道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) ※基準値は小6のみ | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 54.0 | 58.0 | 62.0 | 66.0 | 70.0 |
| 実績(%) | 51.7 | 45.0 | 39.7 | 43.1 | | |
| 達成状況 | | ↓ | ↓ | ↑ | | |
| ●人が困っているときは、進んで助けていると思う児童生徒の割合 (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) | | | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 49.0 | 52.0 | 55.0 | 58.0 | 60.0 |
| 実績(%) | 46.0 | 55.6 | 51.5 | 53.7 | | |
| 達成状況 | | ☆ | ↓ | ↑ | | |

2 施策ごとの取組評価

| | | | |
|------------|---|-----|-------|
| 施策体系コード | I－(3)－① | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ① 「豊かな心」を育む体験活動の充実 | | |
| 取組 | 取組1 環境体験・自然体験・芸術体験活動の実施 | | |
| | 取組2 職業体験活動・ボランティア活動の実施 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>自然と触れ合う体験型環境学習として、小学校3年生において、環境体験学習を実施した。また、小学校5年生において、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、4年ぶりに4泊5日の自然学校が実施できた。中学校1年生では、わくわくオーケストラ教室に参加し、芸術体験活動を行った。トライやる・ウィークでは、感染症対策をとり、事業所での社会体験活動を実施することができた。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>体験活動を通して、本物に触れる心、感動する心、生命に対する畏敬の念、共に生きる心、主体的に判断する力を培うことができた。また、地域とのつながりを認識し、地域貢献のため、自身にできることを考えることができた。トライやる・ウィークでは、不登校生徒が事業所や周囲の支援により、事業所活動に参加できたケースがあった。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>引き続き、体験活動の目標を明確にして、主体的に判断・行動し、問題を解決する力を育むプログラム等を検討する。また、児童生徒がこれまで取り組んできた体験活動を踏まえ、児童生徒の発達段階を見通したキャリア形成が図られるよう指導計画を作成する。</p> <p>トライやる・ウィークでは、より多くの不登校生徒が参加できるよう事前指導を充実させるとともに、学校への登校へつながる事後支援につなげたい。</p> | | |

| | | | |
|------------|--|-----|-------|
| 施策体系コード | I－(3)－② | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ②道徳教育の充実 | | |
| 取組 | 取組1 学校・家庭・地域と連携した道徳教育の推進 | | |
| | 取組2 道徳授業の充実 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>全市立学校で道徳科の授業を家庭や地域に公開し、道徳科を通して子どもたちに培う道徳的価値観を共有した。また、参観後に保護者アンケートを実施し、身に付けてほしい内容を調査することで、目指す子ども像を共有した。</p> <p>道徳教育実践研修への積極的な参加を呼びかけたり、兵庫教育大学と連携し講師を招聘したりして、道徳授業の充実に向け、実践力の向上を図った。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>道徳の授業において、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う児童生徒の割合がやや上昇した。</p> <p>学校における道徳教育について、アンケート結果から家庭や地域の9割を超える方々から道徳の授業に「満足している」（「やや満足している」を含む）という回答をいただいた。また、アンケートから得た保護者が願う「子供に身に付けてほしい力」を知り、共有することができた。</p> <p>道徳科における深い学びを目指す道徳実践について、教材への向き合い方や授業づくりの基本など、教員のキャリアステージに応じた実践的な指導力の向上が図られた。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>学校・家庭・地域が連携し一体となって子どもを育てるため、学校における道徳科の授業を広く公開し、その様子を積極的に発信する。</p> <p>主体的・対話的で深い学びを通して、自分自身のこととして考えを深められるようにするため、課題設定や発問など「考え、議論する道徳」のさらなる深化を目指し、大学とも連携し、教職員の授業実践力の向上を図る。</p> | | |

| | | | |
|------------|---|-----|-------|
| 施策体系コード | I - (3) - ③ | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ③人権教育の充実 | | |
| 取組 | 取組1 発達段階に応じた人権教育の充実 | | |
| | 取組2 多様性を認め合う共生の心の育成 | | |
| | 取組3 自分や他人の人権を尊重する教育等の推進 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>加東市立学校人権教育講演会を5会場で開催し、いじめ、命などの人権課題をテーマに、小学5年生から中学3年生までが学びを深めた。</p> <p>教職員を対象に実施した人権教育スキルアップ研修は、3年ぶりにフィールドワークによる現地研修を実施し、各校の人権教育担当者を中心に、人権・同和問題の理解を深めた。</p> <p>また、増加する外国人児童生徒の支援の充実を図るため、学校及び関係機関等が情報共有する連絡協議会を新たに設置した。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>人権教育講演会後のアンケートでは「見かけや思い込みで人を判断しない」や「本当に困ったときは誰かに相談したい」との回答が見られ、人権課題の解決に向けた意識の変容や実践的な行動力の育成を図ることができた。</p> <p>人権教育スキルアップ研修を通じて、共生社会の生き方や同和問題についての教職員の関心や理解をさらに深めることができた。</p> <p>また、外国人児童生徒等支援連絡協議会での情報共有が外国人児童生徒の支援や受入れに当たり、具体的かつ有益な支援につながられた。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>学校及び関係機関等が一つになり定期的に連絡協議会を開催し情報共有することで、外国人児童生徒等が感じる生活上・学習上の困り感に寄り添い具体的な支援を講じる。</p> <p>また、外部講師による人権教育講演会の開催を継続し、様々な人権課題について解決しようとする実践的な行動力を育成する。</p> | | |

| | | | |
|------------|--|-----|-------|
| 施策体系コード | I - (3) - ④ | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ④防災教育の充実 | | |
| 取組 | 取組1 震災の教訓を風化させない、実践的な防災教育の推進 | | |
| | 取組2 助け合いやボランティア精神等共生の心の育成 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>防災訓練の場面想定を工夫し、垂直避難訓練等、様々な想定で防災訓練を行った。全ての学校において、2回以上の防災訓練を行い、1月17日には、阪神淡路大震災や能登半島地震、身近な災害に関連する防災教育を実施した。各校の防災訓練の事例や防災教育について加東市防災教育推進連絡会議の中で共有し、加東市における防災教育を推進した。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>昨年度の学校安全（防災）支援事業の気象災害モデル校の実践を活かした多様な想定での防災訓練や防災課と連携した加東市小中学校・自主防災組織合同防災訓練を実施し、自らの生命を守る主体的な行動をとる力を育む実践的な防災教育を推進できた。</p> <p>1月17日には、阪神淡路大震災や能登半島地震、身近な災害に関連する防災教育を実施し、助け合いやボランティア精神等の共生の心の育成に取り組んだ。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>防災訓練等の機会を活用し、各校の実践事例を共有する。災害マニュアルを定期的に見直すことで、学校の防災体制を更に充実させる。また、東条小中一貫校の事例を参考にしながら、社小中一貫校開校に向け、学校の防災体制の整備について、市内で共有を図り、教職員の小中一貫における防災意識の向上を図る。</p> | | |

3 取組指標の達成状況

| | | | | | | |
|--------------------|------------------|---|-------|-------|-------|-------|
| 施策体系コード I－(3)－① | | 自然学校において、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力が 高まったと回答する学校の割合 (学校アンケート(市)) | | | | |
| 年 度 | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実 績(%) | 88.9 | 87.5 | 75.0 | 87.5 | | |
| 施策体系コード I－(3)－③ | | 小中学校人権教育講演会後の児童生徒の人権についての関心度 (学校アンケート(市)) | | | | |
| 年 度 | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 53.0 | 54.0 | 55.0 | 56.0 | 57.0 |
| 実 績(%) | 51.9 | 54.7 | 40.6 | 49.2 | | |

基本的方向（４）「健やかな体」の育成

１ 成果指標による達成状況

| 基本的方向（４）「健やかな体」の育成 | | 総合評価 | | C | | |
|--|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ●自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思う児童生徒の割合 （児童生徒アンケート（市）対象：小6、中3） | | | | | | |
| 年 度 | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 72.0 | 74.0 | 76.0 | 78.0 | 80.0 |
| 実 績(%) | 71.1 | 64.4 | 59.2 | 62.9 | | |
| 達成状況 | | ↓ | ↓ | ↑ | | |
| ●不安や悩みがあったときに、相談できる人がいる児童生徒の割合 （児童生徒アンケート（市）対象：小6、中3） | | | | | | |
| 年 度 | 基 準 値 (令和2年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 94.0 | 96.0 | 98.0 | 99.0 | 100.0 |
| 実 績(%) | 92.3 | 90.7 | 89.5 | 91.7 | | |
| 達成状況 | | ↓ | ↓ | ↑ | | |
| ●朝食を毎日食べている児童生徒の割合 （児童生徒アンケート（市）対象：小6、中3） | | | | | | |
| 年 度 | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 88.0 | 90.0 | 92.0 | 93.0 | 94.0 |
| 実 績(%) | 86.7 | 79.7 | 83.0 | 78.7 | | |
| 達成状況 | | ↓ | ↑ | ↓ | | |

2 施策ごとの取組評価

| | | | |
|------------|---|-----|-------|
| 施策体系コード | I－(4)－① | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ① 体力・運動能力向上をめざす取組の充実 | | |
| 取組 | 取組1 体力・運動能力の向上 | | |
| | 取組2 運動やスポーツの習慣化 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>子どもの体力向上推進委員会で、全国体力・運動能力調査の結果を分析し、加東市内の児童生徒は「柔軟性」に課題があることを明らかにし改善への取組をリーフレットにまとめ教職員へ周知した。</p> <p>運動への興味関心を高めるため、小学校の体育授業ではPE（体育）マスター派遣事業で社高等学校体育科生の派遣、中学校の部活動ではかとう夢授業でプロスポーツ選手等を派遣した。</p> <p>部活動指導においては、地域移行に向けた検討委員会を設置し協議を進めた。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>市全体で運動能力の課題を共有し、課題改善に向けた取組を周知することで、各校における課題の取組が広がった。</p> <p>PE（体育）マスター派遣事業では、個別のアドバイスを活かし、意欲的に自己の能力を高めようとする児童の姿が見られた。かとう夢授業では、高度な技術や指導に触れ、部活動へ取り組む意欲の向上につながった。</p> <p>検討委員会では、関係団体・保護者・教員が一堂に会し、現状についての情報共有や今後の加東市の部活動の進むべき方向性について、具体的な協議を進めた。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>PE（体育）マスター派遣事業では、効果的な単元等で活用ができるようさらに研究を進めるとともに、かとう夢授業では対象の種目を広げ、多くの生徒の意欲向上につなげる。</p> <p>部活動の地域移行に向けた検討委員会では、今後のモデル事業実施や段階的な地域展開を円滑に進められるようにする。地域や保護者、教職員の理解を得ながら、関係団体との調整や部活動指導員の増員を図る。</p> | | |

| | | | |
|------------|---|-----|-------|
| 施策体系コード | I－(4)－② | 担当課 | 学校教育課 |
| 施策 | ② 健康・安全教育の充実 | | |
| 取組 | 取組1 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施 | | |
| | 取組2 感染症予防のための正しい知識 | | |
| | 取組3 交通安全教室・防犯教室等を通じた安全意識の向上 | | |
| | 取組4 児童生徒のSOSの出し方に関する教育等の推進 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>身近に迫る薬物の危険性について深く学ぶため、薬物乱用防止教室を全市立学校で実施した。</p> <p>加東警察署からの交通安全情報を各学校へ13回発出して、安全意識の向上を図り、児童生徒及び教職員へ啓発を行った。また、不審者対応訓練を実施し、15校3,055名が参加した。</p> <p>児童生徒アンケートの実施により、積極的に相談できるよう取り組むとともに、タブレットを活用した相談窓口や悩みを抱えた際の相談メッセージ、動画等をアップした。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>薬物乱用防止教室の実施については、小学校でも定着が図られ、早い段階で学習することで正しい知識と行動がとれ、誘惑に流されない学習ができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、こまめな手洗いや換気を継続したことで、基本的な対策の継続が感染症予防につながることを理解した。</p> <p>交通安全については、積極的な啓発、集団での登下校や見守り隊などの協力により、規範意識が身に付いてきている。不審者対応訓練により、危険から身を守る方</p> | | |

| | |
|----------|---|
| | <p>法を学ぶことができた。</p> <p>児童生徒が相談できる体制が身近にあることを理解し、悩みを抱えた際に相談するきっかけとなった。</p> |
| 令和6年度の課題 | <p>社会的課題でもある薬物乱用の防止について、主体的に学び考えられる児童生徒の育成を図る必要がある。</p> <p>交通安全については、自転車の乗り方やヘルメットの確実な着用など、1人でも交通ルールを守り、正しい判断で行動できるようにする。</p> <p>「SOSの出し方教育」については、悩んだときや困ったときに相談する問題対処力を身につけ、不登校支援につなげたい。</p> |

| | | | |
|------------|--|-----|----------------|
| 施策体系コード | I - (4) - ③ | 担当課 | 学校教育課、学校給食センター |
| 施策 | ③ 食育の推進 | | |
| 取組 | 取組1 地産地消による「楽しみのある学校給食特別メニュー」の提供 | | |
| | 取組2 学校給食を活用した食育指導 | | |
| | 取組3 「かとう和食の日」について啓発 | | |
| | 取組4 学校給食センターでの体験学習 | | |
| | 取組5 食育推進指定校による食育推進事業 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>朝食の喫食率向上を図るため、全校で喫食の有無や摂取栄養素について、1週間を通して朝食アンケートを3回実施した。</p> <p>食への興味関心を高め、生き生きとした学校生活を送ることができるよう、かとう夢プラン「楽しみのある学校給食特別メニュー」を月に一回、献立に組み込むことを継続して行った。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>朝食アンケートから、朝食を毎日食べる児童生徒の割合が約8割であることがわかった。教育課題チャレンジ事業を生かし、学校給食センター栄養教諭が中心となり、朝食の重要性や効果、レシピを紹介した教材パンフレットを作成・配付することで、各校における、朝食の喫食率向上を図る指導を支援した。</p> <p>かとう夢プラン「楽しみのある学校給食特別メニュー」を月に一回取り入れることで、児童生徒から「毎月この日の給食を楽しみにしている。」「給食で地域に愛着を感じられた。」と好評で、給食で食べることの楽しみを持たせ、学校生活の励みとなる取組を継続して行うことができた。</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>食事が心身に与える影響と大切さを、学校と連携して周知を図り、保護者への啓発を推進する。</p> <p>引き続き、かとう夢プラン「楽しみのある学校給食特別メニュー」の取組を進め、郷土の味を知り、地元に対する愛着を深め、子どもたちの食への興味関心を高めることができる給食を提供していく。また、学校給食を生きた教材として効果的な食育を行い、将来力強く生きていく心身の礎を作るため、魅力ある学校給食の充実を図っていく。</p> | | |

3 取組指標の達成状況

| | | | | | | |
|--------------------|----------------|---|-------|-------|-------|-------|
| 施策体系コード I－(4)－① | | 毎日5分間以上、意識して体を動かしている児童生徒の割合(体育や部活動、登下校以外) (児童生徒アンケート(市)対象:小6、中3) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和2年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 61.0 | 63.0 | 66.0 | 68.0 | 70.0 |
| 実績(%) | 58.7 | 48.4 | 47.9 | 49.0 | | |
| 施策体系コード I－(4)－③ | | 学校給食での加東市産食材の使用率 (副食(3品を対象)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 24.0 | 25.0 | 26.0 | 27.0 | 28.0 |
| 実績(%) | 23.0 | 25.1 | 25.3 | 25.8 | | |
| 施策体系コード I－(4)－③ | | 加東市産・兵庫県産食材を用いた年間献立率 (食材の内、献立に占める市産・県産の割合) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 28.9 | 29.0 | 29.1 | 29.2 | 29.3 |
| 実績(%) | 25.0 | 25.7 | 25.1 | 22.3 | | |

基本的方向（５）インクルーシブ教育の充実

１ 成果指標による達成状況

| 基本的方向（５）インクルーシブ教育の充実 | | 総合評価 | | A | | |
|---|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ●児童生徒の自立割合（サポートファイルによる支援が不要になった児童生徒の割合） （市調査） | | | | | | |
| 年 度 | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 8.0 | 8.0 | 8.5 | 8.5 | 9.0 |
| 実績(%) | 7.5 | 7.0 | 6.1 | 10.9 | | |
| 達成状況 | | ↓ | ↓ | ☆ | | |
| ●市民対象講演会に対する参加者の内容理解度（４段階評価の平均値） （参加者アンケート（市）） | | | | | | |
| 年 度 | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値 (平均値) | | 2.7 | 2.7 | 2.7 | 3.0 | 3.0 |
| 実績 (平均値) | — | 3.7 | 3.7 | 3.7 | | |
| 達成状況 | | ☆ | ☆ | ☆ | | |

２ 施策ごとの取組評価

| | | | |
|----------------|--|-----|------------|
| 施策体系コード | I－（５）－① | 担当課 | 発達サポートセンター |
| 施 策 | ① 教育相談の充実 | | |
| 取 組 | 取組1 相談事業 | | |
| 令和5年度の 取組内容 | 発達検査・知能検査や発達相談を実施し、個々の特性を理解した上で支援した。 医師の発達相談は22回、理学療法士の運動発達相談は4回、作業療法士の運動発達相談は4回、言語聴覚士の言語相談は8回、心理士の心理相談は12回、発達検査は97回実施した。 | | |
| 令和5年度の 取組成果 | 多職種による相談日を設けることで様々な相談に対応し、支援の必要な方がその人らしく生活できるようにサポートすることができた。 | | |
| 令和6年度の 課 題 | 多職種の相談を受けることができるように相談日を確保する。 | | |

| | | | |
|----------------|---|-----|------------|
| 施策体系コード | I－（５）－② | 担当課 | 発達サポートセンター |
| 施 策 | ② 支援体制の充実 | | |
| 取 組 | 取組1 療育事業 | | |
| | 取組2 巡回相談 | | |
| | 取組3 切れ目ない支援体制の確立 | | |
| | 取組4 現場での支援についての情報提供 | | |
| 令和5年度の 取組内容 | 療育（未就園児対象の小集団療育6回、就学前の集団療育7回、就学後の集団療育4回）を実施した。また、園や学校と連携し、センターの職員や専門会による巡回相談（園27回、専門家派遣型教育相談14回）を行い、支援の必要な子どもに対 | | |

| | |
|------------|---|
| | <p>しての支援方法について助言した。また、家庭と関係機関が情報を共有し、一貫した支援を進めるためサポートファイルの作成を促した。</p> <p>発達障害の基礎的な内容について、市民を対象にした研修を2回開催した。</p> <p>園・学校の職員に対しての研修は5回開催した。</p> |
| 令和5年度の取組成果 | 個別園巡回相談は、昨年度と比較し、2回増加している。 |
| 令和6年度の課題 | それぞれの取組について、より市民のニーズに沿った事業内容を検討していく。 |

3 取組指標の達成状況

| 施策体系コード I - (5) - ① | | 発達サポートセンターへの相談延べ件数 (市調査) | | | | |
|------------------------|----------------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(件) | | 2,100 | 2,100 | 2,150 | 2,150 | 2,200 |
| 実績(件) | 2,022 | 1,896 | 1,927 | 2,156 | | |

基本的方向（6）幼児教育の充実

1 成果指標による達成状況

| 基本的方向（6）幼児教育の充実 | | | 総合評価 | | A | | |
|--|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ●教育の機会の提供 3～5歳児の待機児童数 (保育所等利用待機児童数調査) | | | | | | | |
| 年 度 | | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目 標 値 (人) | 3歳児 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4歳児 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 5歳児 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 実 績 (人) | 3歳児 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 4歳児 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 5歳児 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 達成状況 | | | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| ●保育士等キャリアアップ研修への参加者が、保育実践に役立つと回答した割合 (保育士等キャリアアップ研修参加者アンケート(市)) | | | | | | | |
| 年 度 | | 基 準 値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 |
| 実 績 (%) | | — | 72.0 | 97.0 | 97.0 | | |
| 達成状況 | | | — | ◎ | ◎ | | |

2 施策ごとの取組評価

| 施策体系コード | I－(6)－① | 担当課 | こども教育課 |
|------------|--|-----|--------|
| 施策 | ① 就学前教育・保育の提供体制の確保 | | |
| 取組 | 取組1 公立認定こども園等の再編 | | |
| | 取組2 私立保育所・認定こども園の拡充 | | |
| | 取組3 就学前教育・保育の質の向上 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>公立認定こども園、保育所の段階的な集約に向けて、1箇所でも円滑な運営ができるよう、公立3園の交流保育を計画的に実施し、交流の機会を増やした。</p> <p>今年度、私立保育所及び認定こども園の施設整備に対する補助金の交付はなかったが、昨年度に引き続き保育士等就業支援事業を実施し、保育士等の確保に取り組んだ。</p> <p>保育士・保育教諭等を対象とした「保育士等キャリアアップ研修」を6日間(30時間)開催した。</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>公立3園における交流保育の増により、園児の成長や保護者の安心につながったほか、各園の保育内容や行事計画等を職員間で共有できたことで、幼児教育・保育の提供体制の整備が進んだ。</p> <p>保育士等就業支援事業を実施し、保育士等を確保することで、幼児教育・保育環境の充実につながった。</p> <p>「保育士等キャリアアップ研修」を実施することで、教育・保育の質の向上が図れた。(参加者237人)</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>社地域小中一貫校開校時に公立認定こども園、保育所を集約するため、職員配置を再編するなど、質の高い幼児教育・保育を提供するための体制整備に取り組む。</p> <p>教育・保育の受け皿の拡充を図るため、保育士等の確保に向けた取組を継続して行う必要がある。</p> <p>保育士・保育教諭等を対象とした「保育士等キャリアアップ研修」を引き続き実施するとともに、幼児教育・保育の質の向上を図るための新たな研修を計画する。</p> | | |

| 施策体系コード | I－(6)－② | 担当課 | こども教育課 |
|------------|--|-----|--------|
| 施策 | ② 思いやりの心を育む幼児期の教育の充実 | | |
| 取組 | 取組1 幼児期からの人権教育 | | |
| | 取組2 人権教育実践者の養成 | | |
| 令和5年度の取組内容 | <p>幼児期の「やさしさ」や「思いやり」といった心を育む、「違いを違いと思わない」絶対人権感覚を培うための「人権啓発プログラム」を活用し、幼児期人権教育親子セミナーを市内認定こども園等で実施した。(3園)</p> <p>保育士・保育教諭を対象に幼児期人権教育の実践者を養成するため、指導者養成セミナーを開催した。(1回)</p> | | |
| 令和5年度の取組成果 | <p>幼児期人権教育親子セミナーに参加した5歳児の親子65組へのアンケートによる満足度は100%で、親子で絶対人権感覚を培った。</p> <p>指導者養成セミナーの受講者が「人権啓発プログラム」を園内で実践し、幼児期の「やさしさ」や「思いやり」の心を育むことができた。(15園)</p> | | |
| 令和6年度の課題 | <p>指導者としての資質を高めるとともに、幼児期に絶対人権感覚を培うため、引き続き、「人権啓発プログラム」を実施する必要がある。</p> | | |

3 取組指標の達成状況

| | | | | | | |
|--------------------|----------------|---|-------|-------|-------|-------|
| 施策体系コード I－(6)－① | | 保育士等キャリアアップ研修の延参加者数 (保育士等キャリアアップ研修参加者アンケート(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(人) | | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 |
| 実績(人) | 282 | 310 | 230 | 237 | | |
| 施策体系コード I－(6)－① | | 保育士等キャリアアップ研修開催時間 (保育士等キャリアアップ研修参加者アンケート(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値 (時間) | | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| 実績 (時間) | 30 | 30 | 30 | 30 | | |
| 施策体系コード I－(6)－② | | 「人権啓発プログラム」受講者数(親子) (幼児期人権教育実施状況調査(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(組) | | 66 | 66 | 66 | 66 | 66 |
| 実績(組) | 66 | 27 | 58 | 65 | | |
| 施策体系コード I－(6)－② | | 「人権啓発プログラム」実施施設の割合 (幼児期人権教育実施状況調査(市)) | | | | |
| 年度 | 基準値 (令和元年度) | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 目標値(%) | | 50.0 | 50.0 | 60.0 | 60.0 | 70.0 |
| 実績(%) | 20.0 | 46.0 | 86.7 | 100 | | |